

「ふるさとを愛し 夢を育む 賢く優しくたくましい子」

- ・(ひ) 人の話をしっかり「きく」ことのできる子
- ・(や) やさしく 思いやりのある子
- ・(く) くじけず 最後までがんばる子
- ・(た) たくましく 健康な子



<http://www.hyakuta.m-alps.ed.jp/>

運動会への御協力ありがとうございました

まん延防止等重点措置の発令とともに始まった二学期。県内における感染者の増加とともに、身の回りに近づく不安・・・学校の開始に伴いある程度覚悟はしていましたが、「本当に運動会は実施できるのだろうか」、そんな思いがつのるばかりでした。突然の延期、月曜開催にも関わらず、すべては子供たちのためにと全保護者の皆様から御協力いただきまして本当にありがとうございました。

子供たちも限られた条件の中、また集中力を切らせることもなく精一杯活動できたと思います。

これからも油断できない毎日かと思いますが、今後でもできることとできないことをよく見極めながら進めていきますので、よろしく願いいたします。いろいろな施設が徐々に受け入れを許可してくれつつあるということで、10月7日から校外学習も始まっています。

なお運動会の様子につきましては、CATVが10月22日～24日の8:30～、13:30～、20:30～に流してくれることになっています。

お願い

本校にはたくさんの樹木があります。緑豊かで気持ちがよい反面、その手入れには多くの時間とお金がかかるため手が回っていないという状況です。特に校舎西側の桜の木や自然の杜にある木の枝が伸び、頭を悩ませているところです。道具を持っていて、普通日（葉が落ちてしまう頃）に数時間程度ボランティアをしていただける方がいましたら、ぜひ

「環境ボランティア」にご登録ください。また、冬場雪が降りますと校舎北側や学校北側の道路などが凍り危険が予想されます。降雪時に重機にて学校敷地内および周辺の雪かきをお願いできる皆様には「除雪ボランティア」にご登録いただけるようお願い申し上げます。どちらも本日付の別便りを配布していますので、お子さんを通してご連絡ください。なおボランティアですので、「できるときにできる人が」で大丈夫です。



中学年 花笠



低学年 Young Man



高学年 御神楽



テレビから感じたこと 「徒然なるままに」

十数年前、当時小学生だった我が家の二人の男の子が、某地方チャンネルの番組を熱心に見ていました。夏休みだったので私も見てみると、何と自分が子供の頃胸を熱くしながら見ていた『巨人の星』という番組の再放送（何度目かの）でした。野球を通して、主人公の「星飛雄馬」が、紆余曲折しながら成長していく物語です。王選手や長嶋選手、川上監督まで出てきて、V9のあの時代がとても懐かしく、それ以来機会があれば子供達と一緒に見ていました。改めて気がついたことですが、星飛雄馬は毎話のように涙を流します。悲しいとっては泣き、悔しいとっては泣く、また感激しては涙を流します。何と感受性の豊かなことか…70年代の青春物語なのでしょうね。



一方この物語と同時期に、この『巨人の星』と人気を二分したものに『明日のジョー』があります。ここに出てくる主人公「矢吹ジョー」は、星飛雄馬とは正反対に涙を見せず、じっと自分の中にしまい込んで戦い続けます。どちらも私どもにとっては、かけがえのないヒーローなのです。（若い保護者の皆様にはすみません）

ところで、この二話について共通していることは何でしょう。主人公の生まれが貧しいこと…これは私（望月）と一緒にです。でも、それ以上に言えることは、二人を取り巻く人間関係ではないでしょうか。具体的にいうと、「信頼おける良き仲間」と「すばらしきライバル」の両方が存在しているということです。ある時は力を惜しみなく貸し、またある時には怒り、さらに喜びや悲しみを分かち合える、そんなステキな仲間がいるだけで、人生はかなりの部分明るく過ごすことができるのではないのでしょうか。加えて、自分を更に磨くためには良きライバルがいることが大切だといわれます。これは他人だけでなく、ある時には自分自身だったりすることもあるでしょう。「星」には「花形」，「矢吹」には「力石」という、時には敵となり、また時には友となるこの存在の大きさに改めて気がつかされます。



人間関係が希薄になっているといわれる今日この頃、うわべだけで上手につきあう大人（もちろん私もですが）の雰囲気の子供の世界にまで入り込んでいることを感じることもあります。まだまだ純粋な心を持っている小学生の時に、ステキな仲間や良きライバルに巡り会ってほしいものです。一期一会…同じ学校に通い、同じ教室で学び、偶然にも机を並べ…**となりの人を大切に、クラスメイトを大事に思い、この白根百田小学校を愛おしく感じ、そんな児童でいてくれることを願っています。今年度も残り半分、一人でも多くの友達と親交を深めてほしいです。**

四十数年ぶりに同じ番組を見て、子供の頃のことをふっと思い出した経験です。まだまだ私にも純粋な心があるのでしょうか？

